

共生社会ホストタウン について

平成29年12月11日

内閣官房 東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

共生社会ホストタウンの新設について

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局は、パラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現のための、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーの取組を実施するホストタウンを促進する。これにより地域主導の共生社会の実現を加速すると共に、パラリンピックに向けた機運を全国に波及させる。

共生社会ホストタウンとは

○ 共生社会の実現に向けた取組の推進

障害のある海外の選手たちを迎えることをきっかけに、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーに向けた、自治体ならではの特色ある、総合的な取組を実施する。また、2020年大会時の選手の受け入れだけでなく大会のレガシーとして大会後の発展的な取組にもつなげていく。

【取組の例】

街づくり : 交通施設や宿泊施設、運動施設等、関連する施設のバリアフリー化、ユニバーサルツーリズムの推進
心のバリアフリー : 住民に対しての受け入れ研修、子供達への教育、障害のある人の就労の推進

○ 東京大会の事後交流も含めた、幅広い形でのパラリンピアンとの交流

パラリンピアンとホストタウンの住民が触れ合うことで、地域におけるパラリンピックに向けた機運を醸成する。また、住民が障害のある選手たちと直に接することで、これから日本が目指す共生社会の実現に向けた気づきを得て、意識を変えていくきっかけとする。

【交流の例】

準備期間 : 過去大会に出場した日本人パラリンピアンを招待し、講演会や学校への訪問を実施
2020年 : 東京大会に出場する海外パラリンピアンを招待し、地域住民との交流及びパラスポーツを体験

共生社会ホストタウン 登録について(先行的な取組)

- 11月2日 共生社会ホストタウンの大臣発表
- 11月6日 公募開始
- 12月11日 先行的な取組事例発表

<登録自治体(6自治体)>

- ・三沢市(青森)
- ・明石市(兵庫)
- ・高松市(香川)
- ・浜松市(静岡)
- ・宇部市(山口)
- ・世田谷区(東京)

※今後も締め切りは設けず公募を継続し、応募状況に応じ
随時発表を予定

三沢市の共生社会ホストタウン 活動計画

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに、共生社会実現に向けた取り組みを推進している。今後においては、ウィルチェアラグビーカナダチームのキャンプ受入を契機に、誰もが住みやすく暮らしやすい街・ユニバーサルタウン三沢の実現に向けた取り組みを加速させる。

ユニバーサルデザインの街づくり

- 障害当事者と共に、公共施設の改修に合わせバリアフリー・ユニバーサルデザインを推進



- 国際交流教育センターを改修し、車いす対応の宿泊部屋・シャワールーム等を設置

- 市の助成による民間店舗などのバリアフリー・ユニバーサルデザインの整備促進



- 事前キャンプを契機に、スポーツ団体、国際交流団体、経済団体、福祉団体等と連携した実行委員会を立ち上げ

心のバリアフリー

- 障害当事者講師による、心のバリアフリーセミナー、講演、ユニバーサルマナー教室・検定等の継続実施

- ー小中学校での授業
- ー市民向けイベント



- パラスポーツと連動した取り組み

- ーパラスポーツ設備(ボッチャ・車いす)を解放し障害の有無や年齢に関わらない交流を促進
- ーカナダウィルチェアラグビーチームとの交流・意見交換
- ーパラリンピアンによる体験型授業



- 意識啓発事業

- ーパンフレット作成
- ー「心のバリアフリー」絵画コンクール

浜松市の共生社会ホストタウン活動計画

【目指す姿】外国人や障がいのある人などだれもが隔たりなく学習やスポーツに取り組める都市

- ①ブラジルをはじめとした外国人が活躍する社会の形成
- ②ユニバーサルデザインの優しい都市づくり
- ③心のバリアフリーが根付くまちづくり

⇒四半世紀を越えるブラジルとの交流(※1)を発展させ、パラリンピアンの大数(22競技/350人を予定)受入を契機に、UD先進都市(※2)としての取組を更に加速させる。

※1:外国人学習センターの設置や不就学ゼロ作戦などがブラジル本国からも評価され、地方都市としては珍しい総領事館が設置

※2:我が国ではじめてUD条例を設置するなど、UD先進都市としての取組みを推進



ブラジルパラリンピック委員会との覚書締結

官民連携組織(約70団体)を立ち上げ、横断的な受入体制を構築

・市、大学、経済界、競技団体などオール浜松の体制により、選手団との交流をきっかけとした街のUD化を総合的に推進

ユニバーサルデザインのまちづくり

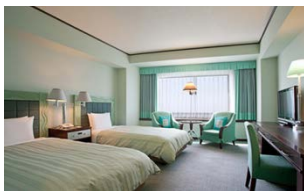
◇ユニバーサルデザインの優しい都市づくりの推進

○施設等のバリアフリー化の推進

- ・ホテルをはじめとした民間施設のUD化
- ・複数の競技施設等の仮設も含めたバリアフリー化

○ユニバーサルツーリズムの推進

- ・浜松観光インフォメーションセンターにおけるUD情報の発信等の環境整備



民間施設のUD化



UDツーリズムの検証

心のバリアフリー

◇心のバリアフリーが根付くまちづくりの推進

- 小中学生へのUD学習支援・福祉教育
- 障がい者への理解啓発イベントの開催
- パラリンピック教材の活用
- 特別支援学校や友愛のさとの子どもたちとパラリンピアンとのふれあいの場づくり
- 地元パラリンピアンによるアスリートフェスティバルの開催
- 選手団と障がい者スポーツ大会との連携



パラリンピアンとのふれあい

総合的に
推進

＜交流事業＞:選手団交流合宿の実施、ブラジル選手団総会ブースの設置、ブラジル応援団結成、ブラジルメディア視察受入、ブラジル本国のスポーツ大会への派遣 など

明石市の共生社会ホストタウン 活動計画

韓国の車いす卓球チームとの様々な交流をきっかけとして、
障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを加速させるとともに、
「人にやさしいまちづくり」を全国に広めることで、共生社会の実現を目指す



ユニバーサルデザインの街づくり

心のバリアフリー

- ユニバーサルモニターを活用した市民参加型の共生のまちづくりの推進
市民公募した(仮称)ユニバーサルモニターとともに駅周辺や宿泊施設、飲食店等、市内のバリアフリー環境の整備や情報アクセシビリティ等の充実を推進(モニター第一号として市内在住のパラリンピアンを委嘱予定)



- ホームドアの設置の促進による誰もが安心して利用できる鉄道駅の整備
障害当事者、市、市議会、商工会議所が連携して取り組み、県内の他の駅に先行してJR明石駅にホームドアが設置されることが決定。2020年3月までの供用開始を目指し、2018年4月以降着工予定。

- 市民参加型のユニバーサル交流イベントの継続実施
2017年11月実施のこどもユニバーサル交流会のような障害のある人とない人が様々な体験交流を通じて楽しみながらお互いを理解し合えるような参加型交流イベントの実施
- 障害当事者との意見交換や障害者体験など様々な交流を交えた交通事業者・旅館業者への障害理解研修の実施
タクシー事業者向けの視覚障害者理解研修、商業者向け知的障害理解研修、旅館業者向け車いす利用者介助研修等

- 合理的配慮の提供を支援する公的助成制度の継続的運用による飲食店等におけるバリアフリー環境の整備と商業者への障害理解の促進
 - ・市の助成を活用した点字メニュー、筆談ボード、折りたたみ式スロープの配置
 - ・段差解消や通路の拡張、ローカウンター化等の工事施工
 - ・制度利用をきっかけとした障害のある人とない人の交流の機会の創出と商業者の障害理解促進



パラリンピアン(スペイン、水泳・マラソン等)との交流等を契機に、アートとスポーツの両軸から心と街のバリアフリー化を推進し、誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現を加速させるとともに、これらを特色としたユニバーサルツーリズムの推進により街の活性化を図る

心のバリアフリー

- 障害者アートの機会提供、世界への発信
 - ✓ 障害者アートの活動・発信の場の提供
 - ✓ UBEビエンナーレのグローバル展開
- 障害者スポーツの推進・理解促進
 - ✓ パラリンピアン等との交流、パラスポーツの紹介、体験等
 - ✓ 障害者スポーツ大会等の開催支援
- インクルーシブ教育・障害者就労支援体制の充実による、誰もが自立的に活躍できる街づくり



ユニバーサルデザインの街づくり

- 市民と創るユニバーサルツーリズムの推進
 - ✓ 障害者がより楽しめる観光施設(UBEビエンナーレ開催地のとときわ公園等)のバリアフリー整備
 - ✓ 宿泊施設、飲食店などのきめ細やかなバリアフリー化の推進
 - ✓ 観光案内、ボランティア等の人材育成と活動促進
 - ✓ 手話や点字等によるコミュニケーション支援
- 障害者視点によるスポーツ施設の改修
- 共生社会のモデルとなる市役所本庁舎建替え事業の実施
 - ✓ 市民活動を支援するための交流・協働の場の設置
 - ✓ 障害に配慮した防災拠点化

「認めあい、支えあい、おもてなしの心で暮らすまち 高松」の実現を目指して

台湾のパラリンピック陸上競技選手との交流を通し、四国八十八箇所霊場のお遍路さんへのお接待に代表される「おもてなしの心」を取り入れた高松らしいユニバーサルデザインを推進。

ユニバーサルデザインの街づくり

○庁内推進体制

ユニバーサルデザイン推進室を設置するとともに全所属に推進員を配置し、すべての施策にユニバーサルデザインの考え方を反映

○陸上競技場を障がい者スポーツの聖地に

ユニバーサルデザインに対応した屋島競技場(屋島レクザムフィールド)において、バリアフリー化を進めるとともに、障がい者スポーツ大会の誘致を行う

※屋島競技場は、駐車場から室内競技場等、フィールドまで段差なく移動できる等、障がい者スポーツ関係者の評価が高い



心のバリアフリー

○市民ボランティア育成研修等の実施

日本パラ陸上競技選手権大会及び東京パラリンピック大会の事前合宿・事後交流に向け、研修等を実施し、市民ボランティアを育成

○情報発信

観光施設のバリアフリー情報等を発信するほか、公共施設等のバリアフリー情報等を掲載したユニバーサルデザインマップの作成に向け取り組む



○啓発事業の実施等

ユニバーサルデザイン展
ユニバーサルデザインアイデアコンテスト
申請書等のユニバーサルデザイン化を推進

ユニバーサル
デザイン



おもてなし
の心



高松市の
ユニバーサル
デザイン

世田谷区の共生社会ホストタウン 活動計画

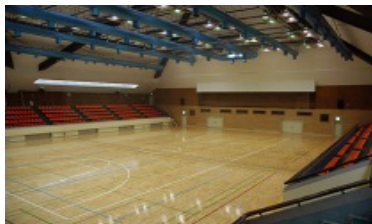
- パラスポーツの体験や障害者がスポーツに親しむ環境を整えることにより、東京2020パラリンピックの気運醸成を図るとともに、アメリカ合衆国のパラリンピアンとの交流による障害理解の促進、アメリカの先進的なバリアフリー社会づくり(ADA法)の取組みをパラアスリートから伺うことなどを通じ、区民が「共生社会」について考え、創造する機会とする。

ユニバーサルデザインのまちづくり

■ 「馬事公苑界わい まちの魅力向上構想」の実現

東京2020オリンピック・パラリンピックの馬術競技の会場となる馬事公苑周辺の魅力向上を推進する。

- 安全な歩行空間の確保（舗装や視覚障害者用ブロックの補修・改善など）
- 公共交通施設のユニバーサル化の促進 など全20項目



障害者と共にユニバーサルデザインの視点でまち歩き

障害者スポーツの推進等

■ 区立総合運動場陸上競技場のバリアフリー化

- 陸上競技場観覧席のバリアフリー化

■ 障害者のスポーツ環境の向上

- 陸上競技場の障害者利用環境の改善（車いすシャワー室の設置）
- （仮称）共生スポーツ大会（まつり）の実施
- 障害者スポーツ事業ボランティアの育成
- 障害者スポーツ・レクリエーション用具の貸出し など

心のバリアフリー

■ 障害理解の促進、障害者の生活環境整備

- 商店街等における段差解消スロープの設置、点字付きメニューの作成、筆談ボードの配置など
- 「（仮称）障害者にやさしい店舗マップ」の作成
- パラリンピアン、障害当事者の参加による「バリアフリーまち歩き点検」の実施
- アメリカのパラリンピアンと区民（障害者等）との交流、「アメリカと日本の障害者の生活の違いを知る！」イベントの実施 など



店舗への取り外し可能な簡易スロープの設置



障害者スポーツの体験

■ 児童・生徒を対象とした障害理解教育の実施

- 全区立小中学校・幼稚園での人権教育の推進
- ボッチャやブラインドサッカー等の障害者スポーツの体験と障害者アスリートとの交流
- パラリンピアンとの交流 など

大会後も継続して交流